

『親指こそうーブケッティノ』の劇場は、茶色い木の小屋です。

赤いカーテンをくぐって中に入ると、あるものは、たくさんのおさななるぼけたベッドと裸電球ひとつだけ。お姉さんが優しく「ベッドに横になって、毛布にもぐりこんで。お話の時間よ」と声をかけてくれる。さあ、お姉さんのお話が始まった。

「むかしむかし、あるところに、貧しい木こりの夫婦がいました。」。お話のあいだ、家の扉があくところでは「ギイッ、ギイッ」

と本物の音が鳴るし、森の中をさまよい歩いている時は、落ち葉を踏みしめる音が「カサ、カサ」と聞こえてくる。うわあ、人喰い鬼の家に迷いこんじゃった!

それじゃ、この「ゴツッ、ガタッ、ゴツッ、ガタッ」

という足音はもしかしたら、人喰い鬼の足音!?

原作||シャルル・ペロー  
演出||キアラ・グイディ

音響・美術デザイン||ロメオ・カステルツチ  
オリジナル版脚色||クラウディア・カステルツチ  
オリジナル版チーフ・ライズメーカー||カルメン・カステルツチ  
オリジナル版企画製作||ソチエタス・ラファエロ・サンツィオ

翻訳||とよしま洋

演出補||遠藤吉博 舞台監督||有馬則純

日本版チーフ・ライズメーカー||田畑祭 日本版音響||相川晶、島山慎一

Buchettino  
The Story of Thumbkin

このお芝居は、イタリアで上演されていたものを、日本版に作り変え、女優・ともさと衣が出演するものです。木くずを敷き詰めた中に並んだ50個のベッドが客席。お姉さんが、シャルル・ペローのおとぎ話「親指こそう」を朗読する声を寝ながら聞いていただきます。物語の中の音がほんとうに劇場に響くなど、本の中に入ったような感覚が味わえる不思議なお芝居。途中、怖いシーンもありますが、いままでにない体験をしていただけることでしょう。その新鮮な面白さを、保護者の皆さまもお子さまと一緒に楽しみください!

### ともさと衣

劇団俳優座の研究生を経て、1998年に竹内統一郎プロデュースユニット「カメレオン会議」のオーディションに合格。その後、舞台を中心に活動。主な舞台出演作に、「見よ、飛行機の高くとべるを」(永井愛作、アントワヌ・コベ演出)、「四谷怪談」(ヨッシ・ヴィーラー演出)、「プライベート・ライヴス」(山田和也演出)、「審判/失踪者」(松本修演出)など。唯一の出演者として抜擢された「親指こそうーブケッティノ」は2005年の初演以来、現在までに全国各地で100公演を重ねる人気作品となっている。



2010年11月26日(金)18:30 | 27日(土)11:00/15:00 | 28日(日)11:00/15:00  
鈴鹿市文化会館 けやきホール

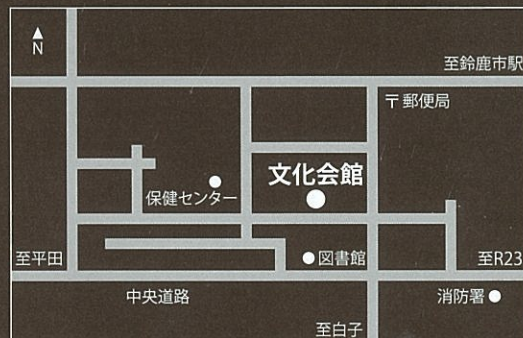
\*開場は開演の5分前です。(30分前よりロビーでお待ちいただけます) \*上演時間は約60分です。  
\*客席形状により、開演後はお席にご案内できません。

全席自由 一般2,500円/学生(中学生以下)・子ども1,500円  
鈴鹿市文化会館 059-382-8111 / (財)鈴鹿市文化振興事業団 059-384-7000  
三重県文化会館 WEBチケットサービス エムズネット/  
チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード 406-738)

\*8月25日(水)より発売開始 \*就学前のお子様はご入場できません。(小さなお子様にはちょっと怖いシーンがあります)  
\*購入後のチケットの交換・返金・再発行はお断りします。 \*チケットぴあ以外のチケットの電話予約はできません。

主催:財団法人 鈴鹿市文化振興事業団 後援:レディオキューブFM三重  
企画・制作:公益財団法人 神奈川芸術文化財団 助成:財団法人 地域創造

お問い合わせ:財団法人 鈴鹿市文化振興事業団  
〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町810番地 鈴鹿市文化会館内  
Tel.059-384-7000 Fax.059-384-7755 8:30~17:15(土日祝休み)  
http://www.s-bunka.net



鈴鹿市文化会館 〒513-0802 鈴鹿市飯野寺家町810番地

(交通) 近鉄鈴鹿市駅から鈴鹿市文化会館行きの三交バスまたはタクシーで約4分  
三交バス鈴鹿市文化会館から徒歩で約1分



このチラシは環境対応紙を使用しています。